

非静力学対流モデルの定式化に関する再検討

～ 地形を考慮した雲解像モデルの開発へ向けて ～

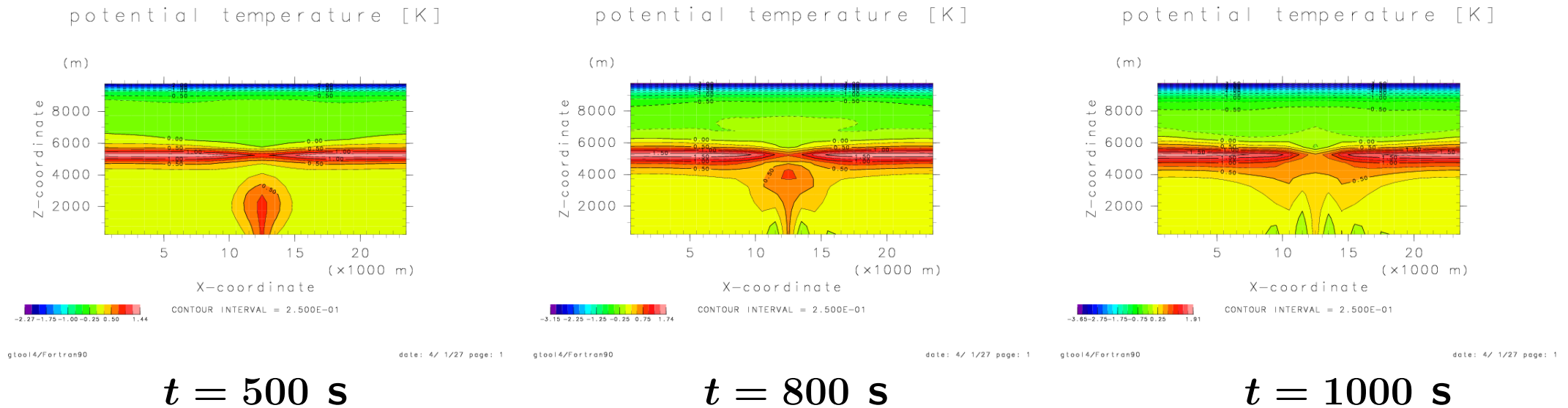
研究目的

私にとって使い勝手のよい非静力学数値モデルを作る

既存の数値モデルは

- 完成度が高いために、逆に使いにくい
- コードが非常に複雑なため、新しい概念を導入しにくい

作成した数値モデルによる計算：サーマルの計算



離散化において、
Klemp and Wilhelmson (1978) 中の式に
書かれていない項がある。

詳しくはポスター発表にて。